

機械器具12 理学診療用器具
一般医療機器 温熱用パック(JMDNコード：37240010)

リハビリパックN2

【禁忌・禁止】

次のような症状を示す人又は診断を受けた人への使用は避けてください。

急性の炎症、悪性腫瘍、出血傾向の強いとき、
細菌感染による化膿性疾患、その他医師が不相当と判断した人。

【形状・構造及び原理等】

本品は耐水性加工布を小袋状に仕切って縫製し、この小袋内に加熱媒体を充填したものです。
本品を加温器等で加熱し、これを治療部位に当てて温熱療法を行います。

種類:

形状	特大	大	中	小	ネック
サイズ (mm)	620 × 400	560 × 290	370 × 290	370 × 150	600 × (165)(75)

【使用目的、効能又は効果】

温熱効果

【品目仕様等】

外 観	目視にて異常を認めない
寸 法	実測値が規格の範囲内である
膨潤率	1.8倍以上(水温65℃、48時間)

【操作方法又は使用方法】

- ①ご購入後はじめて使用する場合には、必ずきれいな水または65℃までの湯に一昼夜ほど浸して膨らませてから使用してください。
- ②加温器の温度を60℃～65℃に設定していただき、パックの全体が浸かるように加温器に入れ、芯部まで十分に温めてください。
- ③加温器より取り出して、表面の水気を軽く拭き取ってからバスタオルでくるんでください。
- ④背中、腰、臀部は覆う様に、手足は巻く様に、肩は背負う様に本品を当てて使用してください。
その時バスタオルからずれないように注意してください。
- ⑤熱すぎたり、ぬるければバスタオルの枚数で調節してください。
- ⑥通常は一回につき15～20分間治療部位を温めてください。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 加熱した本品を加温器から取り出すときは、火傷をしないように吊り紐を引っかけて取り扱ってください。
- 湯以外(電子レンジなど)での加温はできません。
- 加温器の水は週1回以上の交換をお勧めいたします。
- 長期間使用しない時は水を切り、ビニール袋等に置いて冷蔵庫で保管してください。
- 保存方法が悪いと表面にカビが発生して布が弱くなったり、内容物が乾燥して使用できなくなることがあります。

【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

- 本品の使用により皮膚に過敏症状があらわれた場合は、使用を中止し医師の診察を受けてください。

[その他の注意]

- 治療部位の温度感覚が鈍化している知覚障害の方は、火傷を起し易いので十分に注意してください。
- 高度の動脈硬化・循環障害・皮膚疾患等の症状がある方は、使用に際し医師にご相談ください。
- 本品を体の下に敷いて上から乗った状態で使用されますと内容物が出て火傷をする危険があります。
- バスタオルの枚数不足や直接皮膚に当てた使用は、火傷の危険があります。
- 本品は記載の用途以外には使用しないでください。
- 本品は消耗品ですので以下の場合には新しいものと交換してください。
 - ・パックの破損
 - ・パックの硬化
 - ・内容物の減少
 - ・内容物の粘性の低下 など

【包装】

各1枚入

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：乾卯栄養化学株式会社

住 所：大阪市中央区道修町1丁目3番7号

電 話 番 号：06-6231-3371

製 造 業 者：乾卯栄養化学株式会社 四条畷工場

取扱説明書を必ずご参照ください